

共生都市

<プロジェクトの目標>

あらゆる人々が多様な個性を尊重し
互いに支え合い自然を愛し、
共に暮らすまちづくりの推進



<成果目標>

「障がい者や高齢者にやさしいまち」だと思っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 42%(H27) → 70%(H34)【38%(H29)】

「静岡市のために、何か役に立ちたい」と思っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 70%(H27) → 80%(H34)【65%(H29)】

①多様な人々による共生

市民局、企画局、観光交流文化局、保健福祉長寿局、子ども未来局、経済局、都市局、建設局、教育局

実現すべき将来像

○家康公の駿府大御所時代より継承されている異なる価値観を受け入れることができる潜在的な市民性と風土を活かしながら、多様性を社会の豊かさとして、地域の活力につなげることで、お互いの違いを認め合い、だれもが安心して暮らせる共生都市の実現

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 「英語を活用したコミュニケーション向上プロジェクト」では、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプを実施し、実践的な英語に触れる機会を設けることができた。
- 「しずおか女子きらっ☆プロジェクト」では、シンポジウムやメンターカフェ等の関連事業を実施し、「女性活躍推進に取り組むきっかけとなった」等の成果を得た。
- 「地域交通弱者対策事業」では、2地区(駒越地区・長田西地区)に補助金を交付し、地域が主体となって交通弱者の移動手段を確保することができた。

平成30年度の主な事業

多文化共生・国際交流の推進



英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト(教育局)【253,381千円】

男女共同参画の推進



しずおか女子きらっ☆プロジェクト(市民局ほか)【16,743千円】

バリアフリーの推進



地域交通弱者対策事業費助成(都市局)【3,800千円】

駿河共生地区の整備



生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業(保健福祉長寿局)【19,800千円】

平成31年度の取組

- 「英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト」では、地域人材「GET」のより効果的な活用の推進や、イングリッシュキャンプなど授業以外で英語に接する機会を設けることなどにより国際的に活躍できる子どもの育成に取り組む。
- 「しずおか女子きらっ☆プロジェクト」では、官民連携、6局8課により引き続き各種事業を実施する。
- 「地域交通弱者対策事業」では、既存の2地区の継続に加え、新たに1地区の事業化に向け取り組む。
- 「生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業」では、共生事業、移住支援事業等に加え、地域多世代交流型住宅着工に向けた準備に取り組む。

多文化共生・国際交流の推進



英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト(教育局)【246,975千円】

男女共同参画の推進



しずおか女子きらっ☆プロジェクト(市民局ほか)【14,617千円】

バリアフリーの推進



地域交通弱者対策事業費助成(都市局)【4,000千円】



生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業(保健福祉長寿局)【18,809千円】

②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

環境局、企画局、市民局、観光交流文化局、経済局、都市局、建設局、教育局

実現すべき将来像

- 豊かな自然環境・生態系を維持
- モニタリングを継続的に実施するとともに、自然を守る人材、地域の核となる人材を育成
- 地域団体、企業、行政の連携を図り、地域資源を磨き上げ、地域振興の取組を推進

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業では、実行計画に基づき①自然環境の保全、②調査・教育、③地域経済の発展に係る事業を実施した。
- 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家活用事業では、地域等と連携したトレイルランニングコース開設記念事業や送迎バス付き事業等を実施し利用者の高い満足度が得られた。
- あさはた緑地（第1工区）整備事業では、公園施設整備工事、建築物実施設計（農業体験棟、炊事場）を計画通り実施した。

平成30年度の主な事業

南アルプスユネスコエコパーク 管理運営計画の推進



南アルプスユネスコエコパーク
管理運営計画推進事業
(環境局)【16,059千円】



南アルプス環境調査
(環境局)【9,500千円】

里地・里山の機能保全



あさはた緑地(第1工区)整備事業
(都市局)【195,000千円】



南アルプス登山道
整備事業
(経済局)【10,000千円】



トレイルランニングコース
の設置及び活用
(教育局)【4,672千円】

平成31年度の取組

- 南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業では、実行計画に基づき引き続き事業を実施するとともに、ユネスコエコパーク登録5周年を迎えるため構成市町と連携し記念事業を実施する。
- 中央新幹線建設事業による自然環境への影響を最小限とするため、継続して環境調査に取り組む。
- 南アルプス登山道整備事業では、登山者の安全を確保するため、登山道・山小屋の調査及び修繕を実施する。
- 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家活用事業では、さらなる活用を進めるため、トレイルランニングコースの延伸整備や送迎バス付き事業を実施するとともに、新館宿泊棟と食堂棟の改修工事を実施する。
- あさはた緑地（第1工区）整備事業では、引き続き公園施設整備工事を実施するとともに、建築工事（センターハウス、休憩所）を実施する。

南アルプスユネスコエコパーク 管理運営計画の推進



南アルプスユネスコエコパーク
管理運営計画推進事業
(環境局)【12,530千円】



南アルプス環境調査
(環境局)【9,000千円】

里地・里山の機能保全



あさはた緑地(第1工区)整備事業
(都市局)【248,000千円】



南アルプス登山道
整備事業
(経済局)【7,000千円】



南アルプスユネスコエコパーク
井川自然の家活用事業
(教育局)【401,141千円】

③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

市民局、企画局、各区役所、観光交流文化局、環境局、保健福祉長寿局、子ども未来局、経済局、都市局、教育局

実現すべき将来像

- 市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材の養成

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業では、2課程17講座を実施し、354人の修了生を輩出するとともに、修了生人材バンク「ここにわネット」を構築した。
- 「大学連携による地域課題解決事業」では、しずおか中部連携中枢都市圏の連携事業として実施し、学生の地元意識の醸成、地元就職に繋がってきている。
- 「小島生涯学習交流館建設事業」では、ワークショップによる地域住民及び施設利用者の意見が反映された施設を建設し、新たな「地域の人づくり」の拠点となった。

平成30年度の主な事業

人をつくる仕組の推進



「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業
(市民局ほか)【26,485千円】



高等教育のあり方検討推進事業
(企画局)【3,093千円】

人を活かす仕組の推進



「市民活動支援システム」運用事業
(市民局)【3,280千円】



生涯学習交流館・児童館建設事業
(市民局・子ども未来局)【373,930千円】

平成31年度の取組

- 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業では、一層意欲のある受講生の確保に取り組むとともに、新たに「高校生まちづくりスクール」を開設し、次代を担う高校生も含め、幅広い地域人材養成に取り組む。
- 高等教育のあり方検討推進事業では、高等教育あり方検討会で引き続き議論を行うとともに、市民への周知・啓発を行う。
- 「市民活動支援システム」活用推進事業では、自分の住む地域で行われているまちづくり活動への市民の参加を促すための情報を提供していく。
- 「学びの場+地域コミュニティによるまちづくり活動の場」である生涯学習施設について、安心安全に利用できるよう継続して施設整備に取り組む。

人をつくる仕組の推進



「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業
(市民局ほか)【19,931千円】



高等教育のあり方検討推進事業
(企画局)【5,939千円】

人を活かす仕組の推進



「市民活動支援システム」活用推進事業
(市民局)【2,865千円】



生涯学習交流館建設事業
(市民局)【541,300千円】

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

6 共生都市	あらゆる人々が多様性を尊重し共に暮らすまちづくりの推進
6-①	多様な人々による共生

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
多文化共生・国際交流の推進									
1	教育局	学校教育課 教育センター	拡充	★英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト(グローバル人材の育成)	ソフト	246,975		162	122
2	観光交流文化局	スポーツ交流課	拡充	★オリンピック・パラリンピック合宿等誘致事業	ソフト	60,000			67
3	教育局	教育センター	新規	オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業	ソフト	3,093			125
4	市民局	男女参画・多文化 共生課	継続	多文化共生推進事業	ソフト	1,600			52
男女共同参画の推進									
5	市民局 ほか関係局	男女参画・多文化 共生課 ほか関係課	継続	しずおか女子きらっ☆プロジェクト	ソフト	14,617		201	52
6	市民局	男女参画・多文化 共生課	新規	LGBTフレンドリー推進事業	ソフト	3,442		202	52
バリアフリーの推進									
7	都市局	交通政策課	継続	地域交通弱者対策事業費助成	ソフト	4,000		203	105
駿河共生地区の整備									
8	保健福祉長寿局	福祉総務課	継続	★生涯活躍のまち静岡(GCRC)推進事業	ソフト	18,809	④健康長寿のまち	138	72
9	保健福祉長寿局	障害福祉企画課 (障害者福祉課)	新規	障害者福祉施設等整備事業(生活介護事業所)	ハード	86,100			74
その他									
10	保健福祉長寿局	福祉総務課 障害福祉企画課 (障害者福祉課) 高齢者福祉課 精神保健福祉課	拡充	★成年後見制度利用促進事業	ソフト	20,957		145	72
11	保健福祉長寿局	障害福祉企画課 (障害者福祉課)	新規	施設管理運営事業(富士見エリア共同駐車場整備)	ハード	12,774			74
計						472,367			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 349,254

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト
(グローバル人材の育成)

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	246,975	22,615		16,243	208,117
前年度予算額	253,371	22,122		17,602	213,647

目的	小中学校の9年間を通じた静岡型小中一貫教育の中で、異なる文化の人々と自信を持ってコミュニケーションをとることができ、地元への愛情を持ちながら国際的に活躍できるグローバルな子どもたちを育てる。
----	---

事業概要	静岡市英語教育推進指針に沿った取組を推進
	1 英語検定受験補助の実施 1,800千円 市立中学校の3年生の希望者を対象に、英語検定3級以上の検定料のうち1,000円を補助
	2 英語が堪能な地域人材「GET」の活用 拡充 14,799千円 英語が堪能な地域人材をGlocal English Teacher=GETとして各小学校へ配置し、担任・ALTと共に英語の授業を実施 【資格要件】静岡市在住で、海外生活経験のある方、英検準1級相当以上の英語力を有する方など
	3 静岡市独自教材の活用 1,820千円 しずおか学と連携した独自教材を小学校へ配布し、静岡市ならではの題材を用いた英語表現を身に付ける授業を実施
	4 授業以外で英語に接する機会の提供 157千円 ALTと英語だけで活動するイングリッシュキャンプや、放課後にALTと気軽に英会話を楽しむイングリッシュカフェなどの実施
	5 教員の英語力の向上 1,370千円 海外派遣研修など、教員の英語力を高めるため、教員研修を実施
★グローバル人材：グローバル (Glocal) とはグローバル (Global) とローカル (local) からの造語で、グローバル人材とは『世界的な規模で考えて、身近なところから行動できる (Think globally, act locally) 』人材	



GETの活用の様子



独自教材「しずおかグローバルタイム」



6 共生都市 ①多様な人々による共生

しずおか女子きらっ☆プロジェクト

市民局ほか

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	14,617	3,430			11,187
前年度予算額	16,743	4,576			12,167

目的	女性の“活躍したい”希望がかなうまちを実現し、地域経済・社会の持続的成長を図るため、「女性活躍」に関する企業の取り組みを促進するとともに、活躍したい女性への支援を行う。
----	--



事業概要	<p>1 企業の取組をバックアップ、やる気を応援 4,869千円 ○官民連携会議の開催 ○女性活躍ブランド認定の実施 ほか</p> <p>2 女性の「活躍したい！」を応援 9,748千円 ○民間企業と連携して女性活躍異業種交流会を開催 ○メンターカフェの開催 ほか</p> <p>◆本プロジェクトは、関係6局（総務局、企画局、市民局、子ども未来局、経済局、建設局）が連携して取り組みます。</p>
------	--

女性が企画・開発した
ステキな商品を認定！



先輩女性の
経験談が聞ける！



しずおか女子きらっ☆ブランド認定



女子きらっ☆メンターカフェ

6 共生都市 ①多様な人々による共生

【新規】

LGBTフレンドリー推進事業

市民局

(千円)

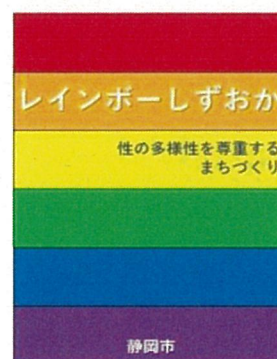
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,442				3,442
前年度予算額					

目的	性の多様性の無理解からLGBTなど性的少数者への偏見や差別が生じているため、生活に困難を抱える当事者が暮らしやすくなるよう理解促進や困難解消に向けた取組を行い、共生都市及びSDGsの目標「ジェンダー平等」を実現する。
----	--

事業概要	<p>1 「性の多様性」の理解促進 2,912千円 「世界に輝く静岡の実現」を目指し、オリンピック前年となる平成31(2019)年度にLGBTに優しいまちとして、職員研修及び市民への啓発を行い、「性の多様性」への理解を深め偏見・差別を解消する。 ○講演会の開催(基礎知識) 1回 ○職員研修(基礎知識・窓口対応) 2回 ○パンフレット制作(当事者の声・事例・相談窓口)</p> <p>2 当事者の居場所づくり 530千円 毎月1回テーマに沿って、講演会及び交流会を開催し、当事者や家族への支援、理解者育成、情報共有を行い、当事者の孤独や困難な状況を解消できる場をつくる。 ○時期 月1回 ○場所 市内公共施設 ○人数 15~20人/回</p>
------	---



講演会の開催



パンフレットの制作

6 共生都市 ①多様な人々による共生

地域交通弱者対策事業費助成

都市局

(千円)

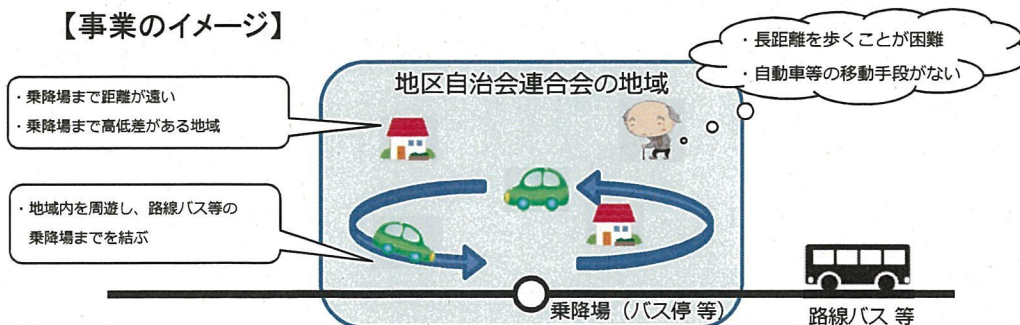
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	4,000				4,000
前年度予算額	3,800				3,800

目的	地域住民が主体となり、地域で交通弱者の日常生活を支える移動手段を確保することにより、地域に相応しい持続可能な地域交通の実現及び地域の活性化を図る。
----	---



事業概要	<p>1 事業内容 長距離を歩くことが困難、又は自動車等の移動手段を持たない、持てない、運転できないといった交通弱者の日常生活を支える移動手段を確保するため、住民が主体となった地域組織の取り組みを支援（3年間で試行期間とするモデル事業。）</p> <p>2 助成の条件 ○公共交通の利用が困難（距離、高低差）な地域であること。 ○運行の範囲が地区自治会連合会等の地域内であること。 ○駐車場や運転者の確保等の地域負担ができること。 ○路線バス等の公共交通の乗降場と結節すること。等</p> <p>3 補助対象者 ○助成の条件を満たす地区自治会連合会等</p> <p>4 平成31（2019）年度の補助対象経費、補助率 ○車両リース代 対象経費の10分の10～8（上限1,000千円） ○運送経費（ガソリン代等） 対象経費の10分の10～5（上限1,000千円）</p> <p>5 平成31（2019）年度の助成内容 ○3地区（駒越地区、長田西地区、新規地区1地区想定）</p> <p>（期待される効果） ○日常生活における移動の円滑化による交通弱者の外出機会の創出 ○地域コミュニティの形成、振興や活力、魅力の向上 ○基幹公共交通利用者の増加</p>
------	---

【事業のイメージ】



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

生涯活躍のまち静岡（CCRC）推進事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	18,809				18,809
前年度予算額	27,800	13,900			13,900

目的 アクティブシニアを中心に、地域の誰もが、健康でアクティブな生活や社会活動への参加などを通じて、生涯活躍できる環境づくりに取り組み、これにより住み慣れた地域でできる限り健康で自分らしく暮らすことができる「健康長寿のまち」を推進する。

事業概要 市内2地区において、「健康長寿のまち」の先進的なモデル地域づくりを一層推進する。

1 駿河共生地区 13,211千円
 コンセプト：交流・共生で「健康長寿のまちづくり」駿河地域モデルの発信
 ○静岡市地域福祉共生センター「みなくる」を中心に、地域福祉の推進や、地域・多世代の交流、移住支援を行う事業を推進

2 葵おまち地区 4,770千円
 コンセプト：「健康長寿なライフスタイル」～大人のおまち暮らし～ブランド化
 ○葵区呉服町の再開発ビル「札の辻クロス」を中心に、次の事業を推進
 ・お試し移住の機会を提供する葵おまち暮らし体験事業
 ・移住者及び地域住民等との地域交流を推進する事業

3 2地区共通 828千円
 生涯活躍のまち静岡推進協議会開催、事業PR等



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築 **【拡充】**

成年後見制度利用促進事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (国1/2、県1/4ほか)	市債	その他	
当初予算額	20,957	10,458		2,078	8,421
前年度予算額	16,382	10,276		2,019	4,087

目的
一人暮らしの高齢者や認知症高齢者が増加するなか、成年後見制度を必要な人が利用につながる地域連携ネットワークを構築し、市民が認知症等により判断能力が低下しても、安心して暮らすことができるまちを目指す。

事業概要

- 成年後見制度利用促進協議会の実施 462千円
 ・構成：家庭裁判所、専門職団体等関係機関、学識及び行政
 ・実施予定回数：5回
 ・地域連携ネットワークの中核となる機関の機能について検討
- 市民後見人の養成研修（実務編）の実施 5,106千円
 ○市民後見人養成研修（2年目）の実施
 ○研修終了後の後見受任に向けての支援体制の協議
- 成年後見制度相談事業 **新規** 2,955千円
 ○弁護士等専門職による制度に関する無料相談会の実施
 ・各区で月1回実施予定
- 成年後見制度啓発事業の実施 **新規** 60千円
 ○地域関係者も含む市民向け講演会の実施
 ○事業者向け説明会の実施
- 成年後見制度利用支援事業 12,374千円
 ○市長による制度申立の実施
 ○資力のない被後見人等を支援する後見人等への報酬助成 **拡充**
 ・対象者を市長申立案件のみから本人・親族申立にも拡大

